

社会科 臨時休業中の課題

- 課題内容：教科書などを参考に、プリントを完成させること。
- 提出日：臨時休業明け最初の社会科の授業。
- 注意点：この課題は臨時休業明けの授業をスムーズに行うためのものです。今後の授業のことを考えながら取り組んでください。

年 組 番 氏名： _____

14 ヨーロッパの「大航海時代」/アメリカ大陸の変容

1 アジアへのあこがれ

- ・コショウなどの①の直接入手の願望
- ・マルコ=ポーロ『②』=金へのあこがれ
- ③を完了させたポルトガル・スペインがアジアへの航路の開拓をめざす

2 ポルトガルとスペインの進出

(1) ポルトガル

- ・④：アフリカ南端の喜望峰到達(1488)
- ・⑤：インドのカリカット到達(1498)
- ・インドのゴア占領(1510)→マラッカ占領(1511)→⑥
- 諸島進出, 香辛料確保

(2) スペイン

- ・⑦：大西洋を西に航行してカリブ海の島に到達
- ⑧が未知の大陸と主張
- ・⑨：南米大陸の南端をまわって大西洋を横断, フィリピンで戦死→部下が世界周航→地球が丸いことを実証

3 世界規模に広がる交易, グローバル化のはじまり

- ・⑩革命…16世紀後半, アメリカ大陸からの⑪の流入と人口増加により西ヨーロッパで物価が上昇
- ・⑫革命…ヨーロッパ経済の中心が移動: イタリア諸都市からバルト海・大西洋沿岸へ→⑬(ポルトガルの首都)やアントウェルペン(ネーデルラント)が繁栄
- ・16世紀以降, ヨーロッパ勢力はアジア・アフリカ・アメリカ大陸へ進出
- ・1571年, スペインが⑭建設→太平洋貿易のはじまり→すべての大陸が緊密につながるグローバル化のはじまり

4 スペインによる征服とアフリカ系奴隷の導入

- ・1521年, コルテスが⑮を滅ぼす
- 1533年, ピサロが⑯を滅ぼす
- ・中南米の植民地化…疫病と過酷な労働で先住民人口の激減→アフリカ大陸の人々を⑰として大量導入
- ほとんどの地域がスペイン領植民地(ブラジルはポルトガル領)
- 植民地では混血がすすむ

ここがポイント

香辛料は, 食肉の防腐・調味に重宝で, 高価な貴重品であったが, イタリア商人が貿易を独占, オスマン帝国の障壁もあって, 交易ルートが必要となったことを理解しよう。

Keyword

アメリカ 16世紀はじめ, ドイツの地理学者ヴァルトゼー=ミュラーが, ヨーロッパの人々にとって未知の大陸を, アメリゴ=ヴェスプッチの名にちなんで名づけた。

ここがポイント

スペイン人がアメリカ大陸諸地域をたやすく征服できた背景について, とくに疫病が果たした役割が大きかったことを理解しよう。

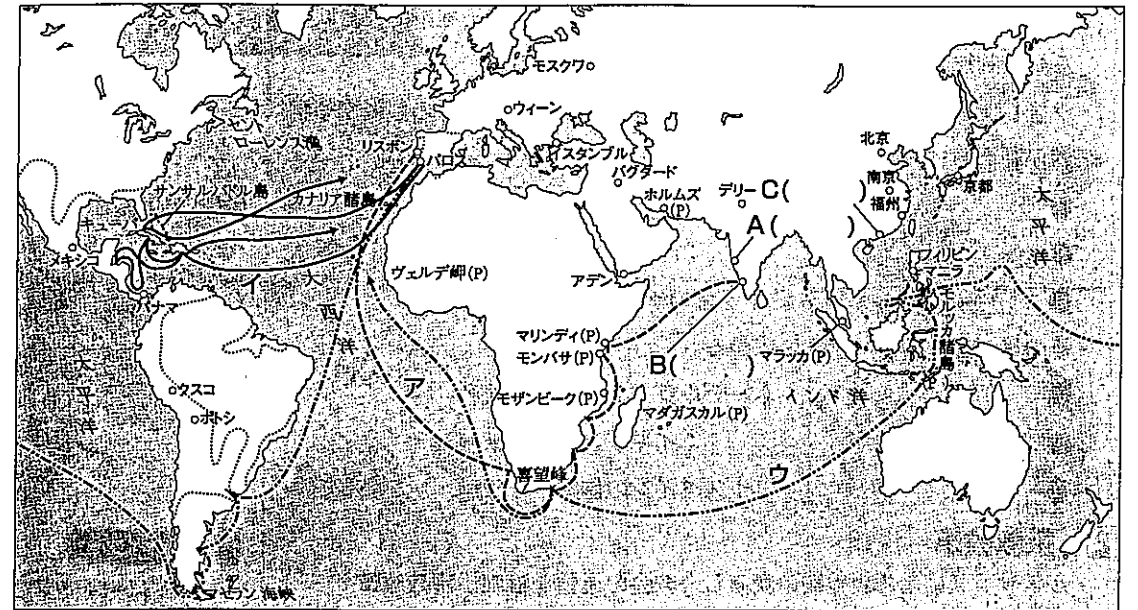
ここがポイント

ヨーロッパとアメリカ大陸のそれぞれにもたらされたモノを確認し, 「コロンブスの交換」によりアメリカの生態系が変化したことに注目しよう。

5 「コロンブスの交換」

- ・アメリカ大陸からヨーロッパにもたらされたもの→⑱
ジャガイモ, トマト, トウガラシなど
- ・ヨーロッパからアメリカ大陸にもたらされたもの→疫病, 馬, 牛, 小麦, サトウキビ, 車輪, 鉄器
- ・イギリス・フランス・オランダ→カリブ海地域を中心に進出
アメリカ大陸植民地化=その後のヨーロッパ発展の基礎

チャレンジしよう



(1) スペインとポルトガルのアメリカ大陸における植民地をそれぞれ着色しよう。

(2) ア~ウはだれの航路か答えよう。

ア() イ()
ウ()

(3) A~Cに当てはまる都市名を次から選び, ()に記号で記入しよう。

- a. マカオ b. ゴア c. カリカット

- ①1498年にインドのカリカットに到達した人物……………()
- ②スペイン女王の援助を受けて, カリブ海の島に到達した人物……………()
- ③16世紀後半の西ヨーロッパでの物価上昇……………()
- ④アステカ王国を滅ぼしたスペイン人……………()
- ⑤インカ帝国を滅ぼしたスペイン人……………()

②ス 269人で出発したマゼラン一行は何人で帰国したか?

①268人 ②132人 ③18人 29

15 ルネサンスと宗教改革

① ルネサンス

(1) ルネサンスとは

- ① _____ ② _____ の古典文化を模範とした、人間らしい生き方を追求する文化運動
- ・これまでの③ _____ 中心の世界観→現世を肯定する、④ _____ 中心の世界観(人文主義)

(2) ルネサンスの展開

- ・14世紀、⑤ _____ でルネサンスがはじまる←地中海貿易による経済的繁栄で、ビザンツ文化・イスラーム文化流入
- ・フィレンツェの⑥ _____ 家の後援を受けて多くの芸術家や学者が登場→15世紀、ルネサンス最盛期

- ⑦ _____ :「モナリザ」
- ⑧ _____ :「最後の審判」
- ⑨ _____ :「アテネの学堂」
- ・その後、ヨーロッパ全体に広がる
- ⑩ _____ :ネーデルラントの人文主義者
- ⑪ _____ :イギリスの劇作家
- ⑫ _____ :スペインの作家

② 宗教改革

- ・ルネサンスによる世界観の見直し→教会の矛盾を批判→宗教改革
- ・ドイツの⑬ _____ が⑭ _____ を発表し、教皇の贖宥状(免罪符)販売を批判→宗教改革のはじまり
- ・教皇は、信仰のよりどころを⑮ _____ に求めた⑯ _____ を破門
- ・神聖ローマ皇帝より主張の撤回を要求されるが、⑯ _____ は拒否→皇帝と対立する有力諸侯が⑰ _____ を支持して、帝国中を巻きこむ戦乱に→⑱ _____ の和議(1555)…カトリックカルター派かは諸侯にゆだねられる
- ・スイスのジュネーヴでは、⑲ _____ が、魂の救済は神によりあらかじめ定められているという⑳ _____ を主張→勤労・蓄財を容認→各地の商工業者に受け入れられる
- ・㉑ _____ (抗議する者の意)…ルター派・カルヴァン派・イギリス国教会の総称

ここがポイント

中世ヨーロッパは、ローマ=カトリック教会の権威が極めて強く、文化的にもキリスト教中心だったことを理解しよう。

キーワード

ルネサンス フランス語で、re(再)+naissance(誕生)から成り、「復興」の意。

ここがポイント

ルネサンスが宗教改革を生みだし、社会に大きな影響をあたえたことを理解しよう。

ひとこと

ヘンリ8世 (1491~1547) イギリス国王で、王妃キャサリンとの離婚問題を契機に教皇と絶縁、イギリス国教会を誕生させた。6人の妻をもち、2番目の妻アン=ブーリン(王妃の侍女)はエリザベス1世を出産した。

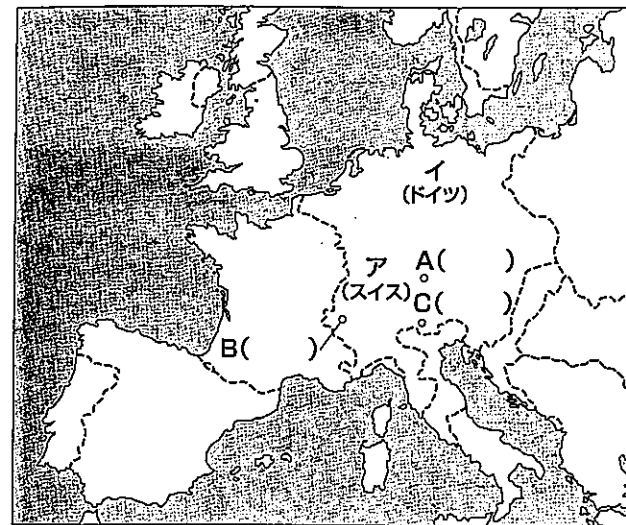
③ カトリックの反撃

- ・カトリック側が㉒ _____ 公会議を開く→教会の腐敗を正し、教皇の権威と教義の正統性を再確認
- ・イグナティウス=ロヨラが㉓ _____ を設立→スペインやポルトガルの海外進出に結びついて、多くの宣教師を海外へ派遣→1549年、㉔ _____ が来日
- ・㉕ _____ …16世紀後半~17世紀におけるカトリック側の失地回復の動き

ここがポイント

カトリック側は、アジアへの布教に活路を求め、ザビエルはインド・日本へ向かった。また、アメリカ大陸においても、布教がさかんになったことを把握しよう。

チャレンジしよう



- (1) A~Cに当てはまる都市名を次から選び、()に記号で記入しよう。
a. トリエント b. ジュネーヴ c. アウクスブルク
- (2) A・Iの地域に多いのはルター派とカルヴァン派のどちらか、答えよう。

ア()派

イ()派

マルティン=ベハイム (1449~1507)

中世のキリスト教的世界観



ルネサンスの時代



マルティン=ベハイム登場



こうして世界最古の地球儀誕生



- ①ルネサンスの根本精神で、人間を中心とした世界観()
- ②贖宥状の販売を批判して、ルターが発表したもの()
- ③魂の救済は神があらかじめ定めているというカルヴァンの説()

㉒ シェイクスピアと同じ1616年に死去した人物は?

①織田信長 ②豊臣秀吉 ③徳川家康 31

16 ヨーロッパ主権国家体制の成立 / 17~18世紀のヨーロッパ諸国

① ハプスブルク家とフランス王家、スペインとイギリス

- 16世紀はじめ、① _____ 家がネーデルラントとスペインを領有
- ② _____ がカール5世として神聖ローマ皇帝を兼ねると、フランスは③ _____ と同盟を結んで対抗→イタリア戦争→主権国家の形成
- 16世紀後半、④ 家はオーストリア系とスペイン系に分かれる
- スペインは、⑤ _____ のとき全盛期
→カトリック信仰を強制し、ネーデルラントでプロテスタントの反乱(⑥ _____ 戦争)がおこる→これを援助した⑦ _____ のイギリスに対して⑧ _____ を派遣→スペイン敗北

② 三十年戦争

- 17世紀前半、オランダの繁栄
- ドイツでのカトリック vs. プロテスタントの宗教対立→周辺諸国が勢力拡大のため介入→ヨーロッパの国際戦争に発展
- 1648年、⑨ _____ 締結
→神聖ローマ帝国内の各領邦の主権を容認
→オランダ・⑩ _____ の独立を正式承認
→ヨーロッパの主権国家体制の確立

③ フランスとイギリス

(1) フランスの絶対王政

- ⑪ _____ …17世紀後半の代表的絶対君主
王権神授説を信奉し、官僚制と常備軍を整備
財務総監⑫ _____ による重商主義政策で国庫を充実
⑬ _____ の造営やぜいたくな宮廷生活、たびかさなる戦争→財政悪化→フランス革命の遠因

(2) イギリスの立憲君主政

- 王党派と議会派の対立から⑭ _____ 革命がおこる
→議会派のクロムウェルが⑮ _____ を樹立
- クロムウェルの死後、王政復古→再び国王と議会が対立
- ⑯ _____ 革命…メアリとその夫のオランダ総督ウィレムが新国王となる→権利の章典発布→議会主権確立

ここがポイント

イタリア戦争を契機に主権国家が徐々に形成されていったことを把握しよう。

Keyword

勢力均衡 諸国家や諸勢力がたがいに均衡を保って、一王国、一王家の優越的地位を許さない状態。

ここがポイント

ウェストファリア条約はヨーロッパ諸国がはじめて結んだ国際条約であり、この条約によりヨーロッパの主権国家体制が確立したことを理解しよう。

ここがポイント

絶対王政のフランスと、議会主権にむかうイギリスの違いに注目しよう。

クromウェル

(1599~1658)
熱心なピューリタンで、内乱が勃発すると、鉄騎隊を組織して王党派を破った。国王処刑後、アイルランドを征服し、航海法を制定してオランダの中継貿易に打撃をあたえた。

④ プロイセンとオーストリア、ロシア帝国

(1) プロイセンとオーストリア

- 1740年、⑰ _____ が⑱ 家の所領を相続→⑲ _____ 戦争→プロイセンの⑳ _____ がシュレジエン奪取
- 1756年、オーストリアがフランスと同盟→プロイセンが㉑ _____ 戦争をおこす→プロイセンがシュレジエンを確保

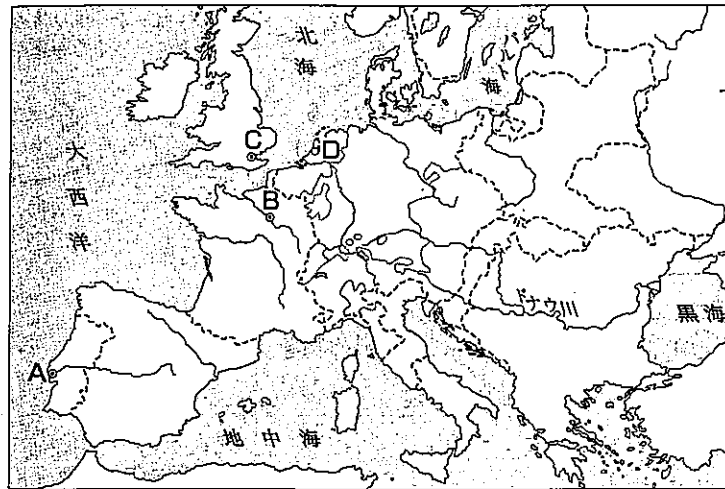
(2) ロシア帝国

- 18世紀前半、㉒ _____ が北方戦争でスウェーデンに勝利→首都㉓ _____ を建設
- 18世紀後半、㉔ _____ がオーストリア・プロイセンと㉕ _____ 実施
- ⑰や㉒は、啓蒙思想家㉖ _____ らと交流し、啓蒙専制君主と称される

ここがポイント

プロイセンとオーストリアの抗争と国際関係の変化、ロシアの発展を世紀ごとに整理して理解しよう。

チャレンジしよう



(1) オーストリア=ハプスブルク家の所領、スペイン=ハプスブルク家の所領を着色しよう。

(2) A~Dに当てはまる都市名を答えよう。

- A (_____)
- B (_____)
- C (_____)
- D (_____)



- ①「太陽の沈まぬ国」を築いたスペイン国王……………(_____)
- ②三十年戦争後、ヨーロッパ諸国がはじめて結んだ国際条約……………(_____)
- ③ルイ14世を代表的君主とする国王中心の統治形態……………(_____)
- ④七年戦争をおこしたプロイセン国王……………(_____)
- ⑤北方戦争でスウェーデンを破ったロシア皇帝……………(_____)

㉖ エリザベス女王にちなんだ地名は？

①ジョージア ②ルイジアナ ③ヴァージニア 33